

早稲田大学 文化構想学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数4題、小問数41問。記述問題が16問、選択問題25問(内訳は正誤<準じるものを含め>18問・語句選択6問・年代配列1問)。選択問題には2つ選ぶ形式が8問あった。出題内容は例年同様、全問テーマ史。今年度はⅠ文明史をもとに平安～江戸時代、Ⅱ「先例」、Ⅲ医学・薬学、Ⅳ対外戦争と歴史認識に関する問題であった。時代別では前近代29問、近現代12問で、例年同様に前近代史重視である。分野別では政治10問・外交10問・社会経済2問・文化19問で文化史が全体の半分近くを占めた。また史料は昨年度なかったが、第Ⅰ問が未見史料をもととした問題であった。難易度は標準～やや難。7割以上が基本問題といえる。試験時間60分は余裕をもってじっくり問題に取り組める。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅰ〕	古代～近世における文明史 <史料>	問1:史料中の「開化」、また問2の中から著者を探し、答えは「日本開化小史」。1877年、田口卯吉が著した歴史書で、古代から廃藩置県までを発展的に叙述している。問2:正解はウで、著者は田口卯吉。アは森有礼、イは徳富蘇峰、エは三宅雪嶺、オは福沢諭吉。問3:エが正解。史料中の「…弊甚しきときは…自由を求め、禍乱に陥れば…太平を致さんことを求め」など、歴史には因果の法則性があることが読み取れる。下線部 g のあとの「因りて」もヒントとなる。問4:「王朝の時」から平安時代、「貴賤」から身分の上下を読み取ると、絶頂期を迎えた藤原道長の望月の歌が選べる。問5:アが正しく、1051年の前九年合戦。イ・ウ・エはいずれも11世紀ではない。オは「源頼信」が「源義家」の誤り。問6:「封建戦国の禍乱」なので、織田信長が関係したウ(桶狭間の戦い)とエ(姉川の戦い)。アは鎌倉時代、イ・オは室町時代前期なので該当しない。問7:近松門左衛門は時代物と「世話物」。問8:「京内の警察にあたる令外官」から嵯峨天皇の時に設置された「檢非違使」。問9:鎌倉幕府が定めたものはウ「御成敗式目」。問10:イ・オが正しい。アは当時「鎖国令」という呼称はない、ウは「イスラム教」ではなくキリスト教、エは「島原」ではなく平戸。	標準
〔Ⅱ〕	古代～近代における「先例」	問1:難問。『北山抄』の著者は「藤原公任」。問2:やや難。誤っているものはイ・オ。例えばイは七夕、オは叙位・除目などがある。問3:難問。「百姓申状」は愁訴の際の嘆願書。「百姓申状」は以前にも記述で出されたことがある。問4:一条兼良の有職故実書はイ「公事根源」。アは順徳天皇、ウは北畠親房、エは桂庵玄樹、オは四辻善成。問5:オが正解。Xは秘事の伝授なので「多くの人に」が誤り、Yは正しいがやや難、Zは戸田茂睡は古今伝授を排斥しているので誤り。問6:赤穂事件における高家といえば「吉良義央」。問7:ウ・エが正しい。アは「百姓が村の代表を訴える」のではなく村の代表者が領主に直訴する、イは「下総」ではなく上野、オ「田沼政治」の時期ではなく幕末期。問8:塙保己一が設置したのはオ「和学講談所」。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
〔Ⅱ〕		ここで『群書類従』を編集した。問9:徴兵制反対一揆のことを「血税一揆」ともいう。問10:難問。ア・イが正しい。イの「神嘗祭(かんなめさい)」とは天皇が新穀を伊勢神宮に奉納する祭儀である。ウは神道国教化は失敗している、エは廃仏毀釈運動を推進していない、オは真の神仏分離を主張しているのでそれぞれ誤り。	
〔Ⅲ〕	古代～近代の医学・薬学	問1:光明皇后が設置したのは施薬院と「悲田院」。問2:イは蘭溪道隆の説明なので誤り。問3:忍性が建てたのは「北山十八間戸」。問4:稻生若水の本草学書は「庶物類纂」。問5:オが誤りで、佐藤信淵は化政文化の時期。問6:オが誤りで、『西説内科撰要』は宇田川玄随の著作。問7:『蔵志』を著したのは山脇東洋。問8:やや難。アが正しい。イは「江戸」ではなく長崎、ウの「稻村三伯」は大槻玄沢に師事した、エの「寛政暦」は高橋至時、オの『暦象新書』は志筑忠雄。問9:1877年から「東京大学」と分かる。問10:ドイツ人内科医はエ「ベルツ」。	標準
〔Ⅳ〕	対外戦争(元寇・朝鮮侵略)と歴史認識	問1:イが正しい。アはフビライ即位が高麗服属後なので誤りだが、これが判別できなくてもイは選べる。ウは弘安の役の説明、エは「博多」と「対馬・壱岐」が逆、オは「全国の御家人」ではなく九州に所領を持つ御家人。問2:「異国警固番役」の「固」の漢字に注意。問3:3字だから「石築地」が正解。石塁ともいうが、こちらは漢字2字なので不適。問4:W(犬養毅内閣)→Z(斎藤実内閣の1932年)→X(斎藤内閣の1933年)→Y(岡田啓介内閣)。問5:イが正解。ミッドウェー海戦が1942年と知っていれば、答えは出る。問6:エが正解。ソ連の対日参戦は1945年8月8日で太平洋戦争最末期である。問7:1945年4月の米軍による沖縄上陸の直後に小磯国昭内閣が退陣し、「鈴木貫太郎」内閣にかわった。問8:ア・エが誤り。アは「首」でなく鼻や耳。エは朝鮮での王朝交替はない。問9:「己酉約条(慶長条約)」は対馬の宗氏が朝鮮と1609年に結んだ条約。問10:イ・エが正しい。アは幕府が派遣したのではなく朝鮮から派遣された、ウは貿易は対馬では行われぬ、オは通信使は1811年が最後なのでそれぞれ誤り。問11:ウ・エが誤り。ウは「朝鮮・台湾」は大東亜会議に参加していない、エは圧制と収奪が行われた。	標準

[総合コメント]

昨年は史料が出されなかったが、今年度の第Ⅰ問は未見史料をもとにした問題であり、読解力を必要とした設問もあった。レベル的には標準であるが、史料を苦手に行っている受験生は面食らったのではないだろうか。基本事項も織り交ぜたかなりの良問だといえる。第Ⅱ問は問1・2・3・5・10に難解なものが含まれていた。第Ⅲ・Ⅳ問はおおむね基本問題である。本学部は教科書学習の徹底で8割ほどの得点が可能であり、さらに他学部も含めた過去問研究によって点数の上乗せができる。むやみに難解な語句等を追うのではなく、基本に忠実であることが大事。また「百姓申状」「吉良義央(今年度)」「一揆契状」「在郷町」「日本資本主義論争(2016年度)」「勸進「碧玉」(2015年度)」「式内社(2014年度)」「人力車」「総力戦(2013年度)」「小泉八雲(2012年度)」「誹風柳多留」「男女共同参画社会基本法(2011年度)」「凡下(2010年度)」など一般的には問われない歴史語句を書かせるので、漢字が苦手であれば練習しておこう。また2016年度は平仮名で「おふみ」と書かせ、2015年度は「蝦夷(えみし)」の読みが出題された。本学部は良問が多く、努力の量に点数が比例する。地道に学習した者が高得点を獲得できる入試である。